

みんなで教育を考える

# 第10回「いばらき教育の日」記念推進大会



期 日 平成21年11月1日（日）

会 場 茨城県立県民文化センター 大ホール

主 催 みんなで教育を考える  
「いばらき教育の日」推進協議会

後 援 茨城県 茨城県議会 茨城県教育委員会 茨城県警察本部  
茨城県市長会 茨城県町村会 茨城県市町村教育長協議会  
（株）茨城放送 NHK水戸放送局 朝日新聞水戸総局  
読売新聞水戸支局 毎日新聞水戸支局 （株）茨城新聞社  
（株）常陽新聞新社

## 開催の趣旨

近年、家庭や地域社会における教育力が低下してきている中で、児童生徒の学力低下、子どもたちの規範意識や公共心の欠如など様々な教育問題が発生していることから、社会全体で教育の重要性を再認識することが強く求められている。

このような状況の中で、300万県民が教育尊重の気運を高め、みんなで教育を考え、学校・家庭・地域社会が連携して本県教育の充実と発展を図ることにより、豊かな心と確かな学力を備えた明日の茨城を担う子どもたちを育成するとともに、生涯にわたって自ら学び、郷土を愛し、地域社会の形成に主体的に参画する人づくりに向けて、さらなる進展に資する。

## 大会日程

◇ 9:30～ 受付開始

◎10:00～ 開会行事

- (1) 開会のことば
- (2) 国歌斉唱
- (3) 茨城県民の歌斉唱
- (4) 主催者あいさつ
- (5) 来賓祝辞
- (6) 来賓紹介

みんなで教育を考える

「いばらき教育の日」推進協議会会長

幡谷 浩史

茨城県知事

橋本 昌 様

茨城県議会議長

葉梨 衛 様

◎10:25～ 表彰

- (1) シンボルマークの表彰
- (2) 善行表彰
- (3) 優秀教員の表彰

◎11:05～ 「教育の日」推進10年の歩み

◎11:25～ 青少年の主張

◎12:35～ パネルディスカッション

明るい未来をきり拓く「茨城の教育」－学校・地域社会・家庭の結束を目指して－

◎14:15～ 記念講演

演題『日本の教育を考える』－ビミョーな時代をどう生きるか－

講師 藤原 和博 先生（大阪府特別顧問、東京学芸大学客員教授）

◎15:50～ 大会宣言

◎16:05～ 閉会行事

- (1) 閉会のことば

# 表彰

## 【「いばらき教育の日」シンボルマーク】表彰

賞名	氏名	職業(学校名・学年)
最優秀賞 (茨城県知事賞)	つくば市 塚本 光 (デザイン) 	学校法人つくば総合学院 つくばビジネスカレッジ専門学校 2年
優秀賞	結城郡八千代町 古谷 美花	学校法人つくば総合学院 つくばビジネスカレッジ専門学校 2年
	水戸市 岩間 琢哉	会社員

(佳作)

- ・ひたちなか市立外野小学校 4年 新原 悠希
- ・高萩市立松岡小学校 6年 落合 彩七
- ・潮来市立德島小学校 6年 篠塚 咲希
- ・土浦市立土浦第二小学校 5年 中野 里咲
- ・下妻市立宗道小学校 3年 池田 光穂
- ・茨城町立明光中学校 2年 飯塚 海華
- ・日立市立台原中学校 3年 石原 希歩
- ・行方市立麻生中学校 2年 大久保未来
- ・土浦市立土浦第三中学校 2年 稲田 春香
- ・坂東市立南中学校 3年 倉持 亮祐
- ・茨城県立鬼怒商業高等学校 3年 青木 亜未
- ・茨城県立美浦養護学校 高等部 2年 坂本 瞳

【善行表彰】

学校名・学年・氏名	善行の内容
北茨城市立中郷第二小学校 小野矢指子供会 (代表 井坂 隼人)	地域の伝統行事となっている盆踊りのおはやしを、毎年、4・5・6年生が約1か月練習して、8月14日の盆踊りで演奏している。 また、北茨城養護学校の文化祭で、22年間和太鼓演奏のステージ発表を続けている。
坂東市立長須小学校 6年 倉持 佑紀	朝夕の登下校時に通学班班長・副班長として、毎日のようになかなか歩こうとしない下級生に対して、励ましの声をかけ、2年間支援を続けている。下級生の保護者からの信頼も厚く、大変感謝されている。
筑西市立大田小学校 5年 中山 遼一 4年 中山 大輔	兄弟は、早朝登校を続けている同級生のことを知り、自分たちも早朝登校をして、会話をしたり係の仕事と一緒にするなど交流を続けた。また、休日や夏休みも室内にこもりがちであったその子と外で遊んだりしてあげた。同級生は2学期から教室ですごくことができるようになった。
筑西市立村田小学校 4年 鮎川 美寿々 2年 三坂 結菜	近所に障害のある1年生がおり、登校する時、手をつないだりして面倒を見ている。同級生がその1年生を、笑ったり噂をしていると、注意をしている。そのため、1年生は学校生活にも慣れ、楽しく登校することができるようになった。
日立市立平沢中学校 生徒会環境委員会 (代表 中村 太郎)	地域の複数のボランティア団体と一緒に、仲町交流センター清掃・宮田川清掃・鞍掛山さくらの整備など、環境美化及び社会福祉活動に全校生徒が自主的に参加し活動している。この活動が始められてから12年になる。
結城市立結城南中学校 3年 平間 朋実、渡辺 智亜紀 福田 美華、久保野谷 栞里	4名が登校途中、道路脇の家の庭の方から、小さな「助けて」という声を聞いた。4名が庭に入ってみると、一人住まいの老人が、苦しそうな様子で倒れていた。急いで救急車を呼び、老人の命を助けることができた。老人は心筋梗塞であることが分かった。
茨城県立鹿島高等学校 2年 平山 愛	昨年12月6日(土)部活動終了後の帰宅途中、歩道近くに停車していた車の運転席で、苦しんでいる男性を発見した。急いで救急車を要請した。男性は心臓発作を惹起しており、1時間遅れていたら命はなかったとのことであった。名前も告げずにその場を去ったが、家族からの電話で判明した。
茨城県立水戸農業高等学校 3年 豊田 俊樹、平山 龍一 2年 坪 亮	本校野球部員の3名が、4月15日練習終了後、後台駅構内の線路上に酒に酔って寝ている男性を発見し、危険と判断して大手を振り列車を止めた。男性は無事に保護された。翌日、JR水郡営業所長と上菅谷駅長が来校し、知ることになった。茨城新聞にも掲載された。

【優秀教員表彰】(ティーチャー オブ ティーチャーズ)

学校名・職名・氏名	功 績
神栖市立大野原西小学校 教 諭      や    ん    れい    こ 八   木   玲   子	<p>「継続する町ぐるみの支援体制づくり」を提案し、校内に地域で利用できる教育相談室を設立し、その運営と児童や保護者の支援に積極的に活動し、成果を上げてきた。平成18年に優秀教員に表彰された後も、県の専門家会議相談員や市の就学指導調査員として、幼・保・小・中学校の連携した就学指導体制や研修体制づくりのリーダーとして積極的に取り組んでいる。国立特別支援教育総合研究所の研究協力員や講師、各種研修会講師を務めて、広く教育の充実に貢献している。</p>
常陸太田市立金砂郷小学校 教 諭      や    ま    ま    と 山   田   政   人	<p>「伝え合う力」の育成のために授業の工夫に取り組み、主体的学習を促す展開の在り方、教材の準備とその活用及び児童一人一人を生かす発問の仕方等を提案・実践し、児童の意欲を高めるとともに勤務校の教職員の研修意欲を高め、学力・授業力向上の成果を上げた。平成20年度の「学力向上推進プロジェクト事業」では模範授業を行い、児童の考えを引き出す発問、児童の考えを拡げる板書などの手だてが大切なことを参観者に改めて感じさせる授業を公開し、地域の授業力向上に貢献した。</p>
常総市立水海道西中学校 養護教諭    し    ま    む    り    こ 嶋   村   百   合   子	<p>各学級の授業に積極的にかかわるとともに、担任や生徒指導部と連携しながら教育相談活動を行い、生徒一人一人の心に寄り添う指導をしている。また、健康診断の結果を分析し、その結果を保健だよりを通して保護者へ公開するとともに、関係者と共有して、理解と協力を図りながら、虫歯予防など生徒の健康課題の改善に努めている。市養護教諭部会のリーダーである。関プロ養護教諭研究大会での発表、及びP T A連絡協議会研修会における講師等を務め、地域の教育力の向上に貢献している。</p>
茨城県立竹園高等学校 教 諭      よ    し    な    り    り    ゅ    い    ち 吉   成   隆   一	<p>吹奏楽部（部員120名）と合唱部（部員30名）の顧問として、両部を、全国高等学校総合文化祭（H20年度、群馬県）の県代表に導いた。合唱部はボランティアコンサート（つくば市）にも積極的に参加し、関係者から高い評価を受けている。また、吹奏楽部への入部を希望して、竹園高校へ入学する生徒もいるなど特色ある教育活動の一つとなっている。さらに、音楽関係大学への進学希望者に対しては丁寧な個別指導を行い、受験に必要な能力と資質を身に付けさせ、生徒の進路希望を実現させるなど、文武両道を目指す、学校の教育理念に沿った、高い教育効果を上げている。</p>
茨城県立協和養護学校 栄養教諭    や    ま    く    ち    き    よ    み 山   口   清   美	<p>特別支援学校の幼児児童生徒の食に関する指導の重要性に着目し、積極的に「食育」を推進している。常に、指導内容・方法について他の教師と課題点を共有しながら、知的障害の児童生徒にも理解できるような具体的な教材による指導、親子給食や座談会の実施などを通じた肥満や偏食の改善や食物アレルギー等についての理解啓発活動、学校でとれた農産物の活用や地域の生産者との協力関係の構築により「地産地消」の実現、など大きな成果を上げている。</p>

## ■ 青少年の主張

I 潮来市立津知小学校 5年 河合 俊亮 「ぼくのゆめ」

II 筑西市立協和中学校 1年 廣瀬 葉摘 「自分らしさを見失わずに」

III 茨城大学人文学部研究生 グエン ティ ホアイ アン (ベトナム)

## ■ パネルディスカッション

テーマ **明るい未来をきり拓く「茨城の教育」**  
ー学校・地域社会・家庭の結束を目指してー

コーディネーター 鈴木 康之 先生 (水戸女子高等学校理事長・校長)

パネラー

中原 弘之 先生 (茨城大学名誉教授)

- 1 ブック活用の研修会参加者によるアンケートの一部紹介
- 2 現代社会における家庭教育の諸問題

柴 咲子 先生 (川口市立北中学校教諭)

- 1 ライフスキルとは？
- 2 カリキュラム紹介
- 3 最近の青少年犯罪の特徴

矢口みどり 先生 (茨城県PTA連絡協議会副会長)

紡ごう 愛情のWA (和・話・笑・環・輪) 築こう 我が家のかたち

## 藤原和博先生記念講演

### 「日本の教育を考える」

ービミョーな時代をどう生きるかー



プロフィール

藤原 和博氏

「杉並区立和田中学校前校長、大阪府特別顧問、東京学芸大学客員教授」

1955年生まれ。1978年東京大学経済学部卒業後リクルート入社。東京営業統括部長、新規事業担当部長、ヨーロッパ駐在などを歴任し、1996年から同社フェロー。2003年4月から杉並区立和田中学校校長に、都内では義務教育初の民間人校長として就任。キャリア教育への取り組みが「ベネッセ賞」を、食育や読書活動の取り組みが「文部科学大臣賞」を受賞するなどした。「和田中地域本部」を立ち上げての「英語アドベンチャーコース」「夜スペ」などの取り組みは話題となった。2008年4月より、橋下大阪府知事から教育分野の特別顧問に委託され、大阪の小中高の活性化と学力Upに力を貸す。『「ビミョーな未来」をどう生きるか』『誰が学校を変えるのか』など著書多数。

MEMO

みんなで教育を考える  
**「いばらき教育の日」推進協議会構成団体一覧**

番号	団体名	代表者名	事務局電話
1	大好き いばらき 県民会議	幡谷 浩史	029-224-8120
2	茨城県PTA連絡協議会	小坏 真司	029-227-4779
3	(社)茨城県教育会	小貫 紀久	029-221-2747
4	茨城県退職校長会	大山 睦	029-269-2001
5	(社)青少年育成茨城県民会議	石津 博康	029-227-2747
6	日本ボーイスカウト茨城県連盟	竹本 俊一	029-226-8482
7	茨城県退職高等学校長会	奥村 義栄	029-247-4507
8	(社)茨城県経営者協会	関 正夫	029-221-5301
9	茨城県高等学校PTA連合会	滝 貢	029-221-1448
10	茨城県学校長会・茨城県教育研究会	都筑 積	029-269-1300
11	茨城県高等学校長協会	後藤 克己	029-224-2254
12	茨城県子ども会育成連合会	中川 輝夫	029-221-6274
13	茨城県私学協会	廣瀬 和喜	029-226-1224
14	茨城県国公立幼稚園PTA 連絡協議会	大久保 勝浩	0296-52-0147
15	茨城県交通安全母の会連合会	神戸 礼子	029-248-2523
16	茨城県商工会連合会	外山 崇行	029-224-2635
17	茨城県地域女性団体連合会	櫻井 よう子	029-221-7898
18	(財)茨城県青少年協会	坏 健男	029-226-1388
19	(社)ガールスカウト日本連盟茨城県支部	相馬 時子	029-226-5438
20	茨城県青少年赤十字指導者協議会	小林 勉	029-241-4516
21	茨城県幼稚園連合会	大津 辰夫	029-252-2990
22	(財)げんでん ふれあい茨城財団	鹿島 文行	029-287-1251
23	(財)茨城県交通安全協会	照山 昭一	029-247-3355
24	茨城県高等学校文化連盟	市川 彰	029-241-0311
25	茨城県高等学校教育研究会	小林 勉	029-241-0311
26	茨城県吹奏楽連盟	黒澤 啓光	029-228-3071
27	茨城県高等学校体育連盟	市村 仁	029-300-5012
28	茨城県高等学校野球連盟	岡野 満	
29	茨城県中学校体育連盟	会沢 勤	029-248-5363
30	茨城県女性リーダー研修生連絡会(緑会)	神長 富子	
31	茨城県教育友の会	中川 實	029-227-3995
32	(社)茨城県私立幼稚園連合会・同PTA連合会	島田 保子	029-226-0538
33	茨城県退職公務員連盟	藤田 潤一	029-226-5683
34	茨城県モラロジー協議会	越川 文子	0299-64-2314
35	(社)茨城県専修学校各種学校連合会	八文字 敏宏	029-221-8771
36	NPO法人 ひと・まちなつとわーく	小野 起玄	029-225-6991

みんなで教育を考える

**「いばらき教育の日」推進協議会**

〒310-0011

水戸市三の丸1-5-38 三の丸庁舎2F

TEL 029-224-8120

FAX 029-233-0030

(大好き いばらき 県民会議内)



# 宣 言 文

今日の急激な社会の変化に伴い、子どもたちをめぐっては、規範意識や公共心の欠如、学習意欲の低下、いじめや不登校など様々な問題が指摘されている。こうした中、私たちは、学校・家庭・地域社会の連携と協力のもと、子どもたちの健全育成に向けて積極的な取組を展開している。子どもたちに地域の大切さを伝え、前向きに将来を語り合うことで、茨城の明るい未来への確かな展望が見い出せるものとする。

本県では平成16年6月に「いばらき教育の日を定める条例」を制定し、300万県民がともに教育を考え、自らの役割と責任を自覚する機会とした。6年目を迎えた今こそ、子どもたちが将来に夢や希望をいただき、心豊かにたくましく生きる力をはぐくめるよう、県民一人一人がそれぞれの教育の重要性を深く理解し、決意を新たに行動しなければならない。

本日、節目となる第10回「みんなで教育を考えるいばらき教育の日」記念推進大会に当たり、本県教育の充実と発展に向けた高い志を再確認し、条例の趣旨を踏まえ、参加者の総意に基づき次の項目の実現に邁進することを宣言する。

# 決 議

- 1 私たちは、地域社会の活動に積極的に参加し、自ら学び、郷土を愛し、よりよい地域社会づくりに努めます。
- 1 私たちは、学校・家庭・地域社会それぞれの教育力を高めるとともに、相互に緊密な連携を図り、健全な子どもの育成に努めます。
- 1 私たちは、300万県民の規範意識の向上に努めるとともに、県民運動として次のことに取り組みます。
  - (1) 「あいさつ」を積極的に交わします。
  - (2) 「きまり」を守り、手本となる行動をとります。
  - (3) 「よい行い」に対し、褒め、励まします。

平成21年11月1日

みんなで教育を考える  
第10回「いばらき教育の日」記念推進大会

## 「いばらき教育の日を定める条例」

### (目的)

第1条 県民の教育に対する関心と理解を深め、学校、家庭及び地域社会が連携して本県教育の充実と発展を図ることにより、豊かな心と確かな学力を備えた明日の茨城を担う子どもたちを育成するとともに、生涯にわたって自ら学び、郷土を愛し、地域社会の形成に主体的に参画する人づくりを進めるため、いばらき教育の日を設ける。

### (いばらき教育の日)

第2条 いばらき教育の日は、11月1日とする。

### (いばらき教育月間)

第3条 いばらき教育の日の趣旨にふさわしい取組を行う期間として、毎年11月をいばらき教育月間とする。

### (県の取組)

第4条 県は、広くいばらき教育の日の趣旨を県民に普及させ、県民による教育に関する主体的な取組を促進するなど、いばらき教育の日の趣旨にふさわしい取組を行うよう努めるものとする。

### (市町村に対する支援)

第5条 県は、市町村が行ういばらき教育の日の趣旨にふさわしい取組について、市町村に対し、必要な助言及び協力を行うものとする。

### (県民の取組)

第6条 県民は、前2条の取組に積極的に参加するとともに、自らいばらき教育の日の趣旨にふさわしい取組を行うよう努めるものとする。

### 付 則

この条例は、公布の日から施行する。(平成16年6月16日施行)

### 茨城県民の歌

一、空には筑波 白い雲

野にはみどりをうつす水  
この美しい大地に生まれ  
明るく生きるよろこびが  
あすの希望をまねくの  
いばらき いばらき  
われらの 茨城

二、ゆたかなみのり 海の幸

梅のほまれにかおるくに  
このかぎりない恵みをうけて  
おおしく励むいとなみが  
あすの郷土をつくるのだ  
いばらき いばらき  
われらの 茨城

三、世紀をひらく 原子の火

寄せる新潮 鹿島灘  
このあたらしい光をかかげ  
みんなで進む足なみが  
あすの文化をきずくの  
いばらき いばらき  
われらの 茨城

(昭和三十八年三月制定)